

様式1 - 記入例

令和3年度 感染防止対策協力支援金

北海道知事 鈴木 直道 様
札幌市長 秋元 克広 様

① 令和3年(2021年) 5月 19日

営業時間短縮等の要請に協力しましたので、支援金の支給を申請します。

申請者の情報	申請者住所	〒060-0000 札幌市中央区北〇条西〇丁目1			
	申請事業者名 (法人名又は 個人事業者名)	フリガナ			
		名称			
		代表者役職			
		フリガナ	サッポロ タロウ		
		代表者氏名	札幌 太郎		
	申請者の種別 (いずれか選択)	<input type="checkbox"/> 法人	法人番号		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個人事業者	個人事業者の 自宅住所 (上記所在地 と異なる場合)	〒001-0000 札幌市北区北〇条西〇	生年月日 (西暦)
	担当者名	所属	総務担当	フリガナ	サ
	連絡先	固定電話	011-123-4567		氏名
携帯電話		090-1234-5678		E-mail	×
資本金の額 又は出資の総額 (法人の場合のみ)	500万円		常時使用する 従業員の数 (法人の場合のみ)	(令和3年4月26日時点)	
企業規模区分 (法人の場合のみ)	<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業 <input type="checkbox"/> 大企業		※該当するほうにチェックを入れてください		

①記入日
受付期間内の日付で申請書を作成した日にちを記入してください。和暦・西暦の両方を記入してください。

②申請事業者名
法人の場合は法人名を記入してください。
個人の場合は個人事業者名を記入してください。

③法人番号
法人の場合は13桁の法人番号を必ず記入してください。

④個人事業者の自宅住所・生年月日
申請者住所とご自宅の住所が異なる場合は記入してください。
生年月日は必ず西暦で記入してください。

⑤担当者名・連絡先
日中連絡が取れる方のお名前とお電話番号、メールアドレスを記入してください。

【口座振替の申し出】

札幌市から支払われる「令和3年度 感染防止対策協力支援金」については、下記に記述のとおり申請していただきます。※ 下欄の「申請状況」にチェックした場合、当該申請情報に基づき、以下の口座情報の記載は不要となります。

申請状況	<input type="checkbox"/> 「感染防止対策協力支援金」(2月16日～2月28日の営業時間)に申請しました。(同支援金事業者番号:)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 「感染防止対策協力支援金」(2月16日～2月28日の営業時間)に申請しませんでした。(同支援金事業者番号:)			
金融機関	銀行	店名	預金種目	
	さっぽろ信用金庫 信用組合 協同組合	本店 札幌 支店	普通 当座	
金融機関コード(※)	0000	店番号	111	(※)金融機関コードが不明な場合は空欄で構いません。

⑥振込先口座の指定
「感染防止対策協力支援金」を申請された場合はチェックを入れてください。それ以外の方は、⑦振込先口座を全て記入してください。

⑦振込先口座
・必ず申請事業者名、誓約書と同一名義の口座を記入してください。
・法人の場合は、当該法人の口座に限ります。
・金融機関コードが不明な場合は、空欄で構いません。
・預金通帳等の表紙裏面のカナ口座名義人を転記してください。
英数字や記号はカタカナに直さず、そのとおりに転記してください。
カナ口座名義人が不明な場合は、金融機関へお問い合わせください。
・ゆうちょ銀行の場合、通帳等に記載の記号・番号は店番号・口座番号とは異なります。
ゆうちょ銀行のホームページ又はお近くのゆうちょ銀行でご確認ください。

⑧申請施設数・合計

申請される施設数を記入してください。
合計額は、全施設分を計算後に記入してください。

◆申請施設数と支援金合計額を記入して下さい

申請する施設数を記載してください。なお、審査の結果、申請いただいた全部又は一部の施設について支給対象外となる場合があります。

施設ごとの支援金額は、企業規模や売上高等に応じて算出されます。支援金合計額については、全ての申請施設の金額算出後に記載してください。

申請施設数	(1) 施設
支援金合計額	(360,000) 円

【申請施設の情報】 要請対象期間に営業時間短縮等を実施した施設

※ 北海道からの要請内容が令和3年5月6日（木）より変更となったため、要請対象期間は

対象期間① 令和3年4月27日（火）から5月5日（水）まで 及び

対象期間② 令和3年5月 6日（木）から5月11日（火）まで となります。

①の期間においては、遅くとも4月29日（木）から要請にご協力いただいたことが要件となります。協力開始が4月27日（火）よりも遅れた場合、ご協力いただいた日数に応じた金額となります。（例えば、4月28日からご協力いただいた場合、支援金額は1日分減額されます。）**なお、4月30日（金）以降からご協力いただいた場合には、支援金の支給要件を満たさず支給できません。**

一方、5月6日（木）以降の要請内容の変更に伴い、新たに要請対象とも5月8日（土）からご協力いただければ、5月6日（木）からご協力を算出いたします。②の期間においては、遅くとも5月8日（土）からご協力が要件となります。上記①の場合と異なり、5月8日（土）までにご協力いただければ、6日当初から要請に応じていただいた場合と同じ日数分の支援金額とさせていただきます。**なお、5月8日（土）以降からご協力いただいた場合には、支援金の支給要件を満たさず支給できません。**

**⑨施設名・住所・業種
業態・電話番号**

申請する施設ごとに記入してください。住所は郵便番号・ビル名・階まで記入してください。

フリガナ **イザカヤ**

名称 **居酒屋**

住所 〒060-0000
札幌市中央区南1条西1丁目1-1

⑩従来の営業時間

従来の営業時間を正確に記入してください。

従来の営業時間 **17:00 ~ 24:00**

⑪要請協力開始日

必ず、いずれかにチェックを入れてください。
※A、B両方の記載が必要な場合と、Bのみ記載が必要な場合があります。

A:対象期間①について
対象期間①における要請協力開始日について、**いずれかに**チェック
□令和3年4月27日（火） 4月28日（水）

B:対象期間②について
対象期間②における要請協力開始日について、**いずれかに**チェック
□令和3年5月6日（木） □5月7日（金）

⑫取組内容

取組を実施した場合、忘れずにチェックを記入してください。

取組内容

対象期間①の全てにおいて、営業時間を午前5時から午後8時までに短縮しました。また、対象期間②の全てにおいて、営業時間を午前5時から午後8時までに短縮しました

対象期間①の全てにおいて、酒類提供時間を午前5時から午後8時までに短縮しました。また、対象期間②の全てにおいて、酒類提供時間を午前5時から午後8時までに短縮しました

業種別ガイドラインに基づく感染拡大防止対策を徹底し、売上高の確認できる資料の提出を省略し、各対象期間における売上高の算出を希望する場合は、下記にチェックを入れてください。

⑬下限額で申請される場合

各対象期間における下限額での算定を希望する場合、チェックを入れてください。
※その場合、売上高の確認できる資料の提出を省略することができます。

下限額での申請希望

業種別ガイドラインに基づく感染拡大防止対策を徹底し、売上高の確認できる資料の提出を省略し、各対象期間における売上高の算出を希望する場合は、下記にチェックを入れてください。

※この場合、申請に必要な書類のうち、売上高の確認できる資料の提出を省略することができます。

施設（店舗）については、各対象期間における売上高の算出を希望する場合は、下記にチェックを入れてください。

⑭自己点検欄

改めての自己点検をお願いいたします。

あわせて、食施設において下記の対策の実施について改めて自己点検を行い、下記にチェックを入れてください。（点検は、任意です）

アクリル板等の設置又は十分な座席間隔の確保

手指消毒の徹底（来店者に消毒を促す）

食事中以外のマスク着用の呼びかけ

換気の徹底

店舗名称	居酒屋▲▲▲▲▲
------	----------

【支援金額の計算手順】

1 施設当たりの支援金額は、以下のとおり企業規模や売上高等に応じて算出されます。以下の手順に沿って、施設ごとに算出してください。

なお、従来の営業形態が継続している場合は、従来通り算出してください。

※いずれも飲食部門

⑮ 支給金額の算定

計算手順に沿って、申請施設の支援金額を算出してください。

※2か所以上の施設を申請する場合、恐れ入りますが、前のページとこのページをコピーのうえ、それぞれ記入してください。必ず申請する全施設分を記入してください。

⑩ 4月27日～5月

⑦: 2019年又は2020年の4月+5月の売上高

6,000,000

※上記⑦の結果が75,000円以下の場合、1日当たりの支援金額を30,000円とし【A: 支援金額算出】に進んで下さい。75,001円以上250,000円以下の場合、⑧へ進んでください。

【⑧の結果が、75,000円以上250,000円以下の場合】

⑧: 1日当たりの売上高に0.3をかけて1日当たりの支援金額を算出し、【A: 支援金額算出】に進んで下さい。

<⑦で算出した1日当たりの売上高> $\times 0.3 =$ <1日当たりの支援金額> \Rightarrow 千円未満は切り上げ

98,361 円 $\times 0.3 =$ 29,508 円 \Rightarrow 30,000 円

【大企業の場合 もしくは ⑧の結果が250,001円以上となる中小企業】

⑨: 1日当たりの売上高を⑧と同じように算出したのち、下記で減少額を算出して下さい。

<⑧で算出した1日当たりの売上高> $-$ <2021年の1日当たりの売上高>

円 $-$ 円 $=$ 円

※上記⑨の結果が187,500円以下の場合には支援単価を75,000円とし【A: 支援金額算出】に進んで下さい。上記⑨の結果が187,501円以上の場合には、⑩を算出し【A: 支援金額算出】に進んで下さい。

⑩: 下記の⑩と⑪を両方算出し、低い方を1日当たりの支援金額として【A: 支援金額算出】に進んで下さい。

⑩ <⑧で算出した減少額> $\times 0.4 =$ 円 $\times 0.4 =$ 円

⑪ <⑧で算出した1日あたりの売上高> $\times 0.3 =$ 円 $\times 0.3 =$ 円

1日当たりの支援金額 \times 協力日数 $=$ 当該期間の支援金額

千円未満は切り上げ (9日又は6日又は7日)

<< A: 当該期間中の支援金額 >> 30,000 円 \times 8 日 $=$ 240,000 円 >>

⑪ 5月6日～5月11日分

⑦: 2019年又は2020年の4月と5月の売上高合計額を記入し1日当たりの売上高を算出して下さい。

<4月+5月の売上高合計額> \div 61 $=$ <1日当たりの売上高> ※小数点以下は切り上げ

6,000,000 円 \div 61 $=$ 98,361 円

※上記⑦の結果が75,000円以下の場合、1日当たりの支援金額を30,000円とし【B: 支援金額算出】に進んで下さい。75,001円以上250,000円以下の場合、⑫へ、250,001円以上の場合、⑬へ進んでください。

【⑦の結果が、75,000円以上250,000円以下の場合】

⑫: 1日当たりの売上高に0.4をかけて1日当たりの支援金額を算出し、【B: 支援金額算出】に進んで下さい。

<⑦で算出した1日当たりの売上高> $\times 0.4 =$ <1日当たりの支援金額> \Rightarrow 千円未満は切り上げ

98,361 円 $\times 0.4 =$ 39,344 円 \Rightarrow 40,000 円

【大企業の場合 もしくは ⑫の結果が250,001円以上となる中小企業】

⑬: 1日当たりの売上高を⑫と同じように算出したのち、下記で減少額を算出して下さい。

<⑫で算出した1日当たりの売上高> $-$ <2021年の1日当たりの売上高>

円 $-$ 円 $=$ 円

※上記⑬の結果が250,000円以下の場合には支援単価を100,000円とし【B: 支援金額算出】に進んで下さい。上記⑬の結果が250,001円以上の場合には、⑭を算出し【B: 支援金額算出】に進んで下さい。

⑭ (⑬の結果) $\times 0.4 =$ 円

1日当たりの支援金額 \times 協力日数 $=$ 当該期間の支援金額

千円未満は切り上げ (6日で算定)

<< B: 当該期間中の支援金額 >> 40,000 円 \times 6 日 $=$ 240,000 円 >>

Aで算出した額 $+$ Bで算出した額 $=$ 当該施設の支援金額

<< C: 当該施設の支援金額算出 >> 240,000 円 $+$ 240,000 円 $=$ 480,000 円